東北地方

名前

問1　東北地方では、青森ねぶた祭や仙台七夕まつりといった伝統行事が重要な観光資源となっています。2024年の統計資料によれば、これらの祭りは多くの観光客を呼び込み、地域に多額の利益をもたらしています。このように、祭りの開催によって宿泊施設や飲食店、交通機関などの売上が増え、地域全体に及ぼされる経済的な波及効果を何といいますか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 地産地消
2. 経済効果
3. 伝統的工芸品
4. 過疎化の抑制

問2　東北地方の各県において、主要な幹線道路である高速道路の路線図と工場の所在地を重ね合わせると、特定の地点に工場が集中している様子がうかがえる。この工業の特徴に関する記述として、正しいものはどれか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）

1. 地元の鉄鉱石資源を有効活用するため、高速道路沿いの炭鉱跡地に製鉄所が建設され、重工業の中心となっている。
2. 高速道路の利便性を活かし、シリコンロードとも呼ばれる半導体や電子部品の生産拠点が形成されている。
3. 輸入した原油を加工するため、高速道路の終点となる大規模な貿易港に石油化学コンビナートが集中している。
4. 輸送費を抑えるため、重い部品を扱う自動車の組み立て工場が、高速道路のサービスエリア内に設置されている。

問3　「福島わらじまつり」が開催される福島市の位置する県から、「盛岡さんさ踊り」が開催される盛岡市の位置する県へ太平洋側の陸路で移動する場合、2つの県の間に位置し必ず通過することになる都道府県を1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 宮城県
2. 山形県
3. 秋田県
4. 青森県

問4　東北地方の地方中枢都市として機能し、周囲の自治体から通勤・通学者が多く流入するために昼間人口割合が100%を超えている一方、大規模な重化学工業地域を持たないため工業製造品出荷額が比較的少ない政令指定都市はどこですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 堺市
2. 広島市
3. 京都市
4. 仙台市

問5　宮城県の沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国の生産量の約六割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。
2. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。
3. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮目（潮境）が近いため、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。
4. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。

問6　福島県は、東北地方、関東地方、中部地方という3つの異なる地方に属する県と境界を接しています。福島県が南側で境界を接している、関東地方に属する3つの県の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）

1. 千葉県、茨城県、栃木県
2. 茨城県、栃木県、群馬県
3. 茨城県、栃木県、埼玉県
4. 栃木県、群馬県、新潟県

問7　東北地方の伝統的工芸品のうち、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に古くから作られており、鉄を主原料とした鋳物の工芸品を何といいますか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 会津塗
2. 津軽塗
3. 天童将棋駒
4. 南部鉄器

問8　東北地方の太平洋側に位置し、複雑な海岸線を持つリアス海岸がある岩手県の地理的・産業的特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈の西側に位置し、季節風の影響で冬は世界的な豪雪地帯となる
2. 波が穏やかな入り江の環境を利用して、かきやわかめなどの養殖が盛んである
3. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候である
4. 最上川の下流に広がる庄内平野を中心に、全国有数の稲作地帯となっている

問9　東北地方の日本海側では冬に多くの降雪が見られるのに対し、奥羽山脈などの山々に囲まれた内陸部では、沿岸部と比較して年間の降水量が少なくなる傾向があります。このように内陸部で降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 内陸部は標高が高く、年間を通して上昇気流が発生しにくいため
2. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を最も強く受けるため
3. 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため
4. 暖流である日本海流の影響が山脈によって遮られてしまうため

問10　東北地方などの農業において、安価な輸入農産物との競争が激しくなる中、国産品の価値を高めて差別化を図るための取り組みが重視されています。このような戦略の内容として最も適切な説明はどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 輸送コストを削減するために、都市部の消費地から離れた地域での農業生産をすべて停止する。
2. 海外から安価な種苗を大量に導入し、栽培にかかる初期コストを極限まで抑えて生産量を増やす。
3. 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。
4. 大規模な機械化を徹底的に推し進め、輸入農産物と同等の低価格を実現することのみに専念する。

問11　宮城県の稲作において、1990年代前半に「ササニシキ」から「ひとめぼれ」への急速な品種交代が起こりました。1994年には「ひとめぼれ」の作付割合が「ササニシキ」を初めて上回ることになりますが、このような品種交代が行われた背景として最も適切な理由はどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 「ササニシキ」は病虫害に弱く、1990年代に県内全域で栽培が禁止されたため
2. 政府が減反政策を強化し、収穫量の多い「ひとめぼれ」のみを買い取る制度に変更したため
3. 地球温暖化の影響により、宮城県の気候が冷涼な環境を好む「ササニシキ」に適さなくなったため
4. 「ひとめぼれ」が「ササニシキ」と比較して冷害に強く、かつ良食味であったため

問12　岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用し、樹皮を加工して作る木工品である。
2. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。
3. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。
4. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。

問13　東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する
2. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす熱い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる
3. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する
4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす

答え合わせ・解説

問1	答え 2 経済効果	地域の伝統行事が観光の目玉となることで、県外から訪れる人々が宿泊や食事、土産物の購入にお金を使います。これにより、祭りそのものの収益だけでなく、周辺のさまざまな産業に利益が広がる現象を指します。東北地方では、特に青森ねぶた祭や仙台七夕まつりなどの大規模な祭りが、地域経済を支える重要な柱となっています。
問2	答え 2 高速道路の利便性を活かし、シリコンロードとも呼ばれる半導体や電子部品の生産拠点が形成されている。	東北地方の高速道路沿いに半導体工場が多く並んでいる様子は、かつて九州が「シリコンアイランド」と呼ばれたことになぞらえて「シリコンロード」と呼ばれます。これは、製品が軽量で航空機やトラック輸送に適していること、製造工程で欠かせない良質な水が豊富であることなどが背景にあります。石油化学や鉄鋼といった重工業は、原料の運搬効率から沿岸部に立地するのが一般的であり、高速道路沿いの特徴とは異なります。
問3	答え 1 宮城県	福島わらじまつりが行われる福島県と、盛岡さんさ踊りが行われる岩手県は直接隣接していません。そのため、太平洋側の陸路で移動する際には、両県の間に位置する宮城県を通ることになります。
問4	答え 4 仙台市	仙台市は東北地方の経済・行政の中心地（地方中枢都市）であり、周辺地域から多くの人が通勤・通学するため昼間人口割合が100%を超えます。商業やサービス業が中心であるため、自動車産業などが盛んな広島市と比べて工業製造品出荷額は少なくなっています。
問5	答え 4 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。	リアス海岸の入り組んだ地形は、養殖に必要ないかだを安定して浮かべるための静かな水面を提供します。また、背後に迫る山々から川を通じて森の栄養分が海へ流れ込み、カキの餌となるプランクトンが大量に発生することも、全国有数の生産量を誇る重要な要因です。潮目での漁獲は沖合漁業の特徴であり、一度放流してから捕る方法は「栽培漁業」の説明です。
問6	答え 2 茨城県、栃木県、群馬県	福島県は県境を接する県が6つと非常に多く、その範囲は複数の地方にわたっています。南側では、北関東に位置する茨城県、栃木県、群馬県の3県すべてと接しています。埼玉県は群馬県や栃木県の南にあるため福島県とは接しておらず、千葉県も茨城県のさらに南東に位置するため境界は持っていません。また、新潟県は接していますが中部地方の県です。
問7	答え 4 南部鉄器	岩手県の盛岡市や奥州市で江戸時代から受け継がれてきた鉄鋳物の工芸品です。厚みのある鉄が熱を均一に伝え、保温性に優れているという特徴があります。他の選択肢について、津軽塗は青森県、会津塗は福島県、天童将棋駒は山形県の伝統的工芸品です。
問8	答え 2 波が穏やかな入り江の環境を利用して、かきやわかめなどの養殖が盛んである	岩手県は東北地方の太平洋側にあり、特に南部沿岸のリアス海岸はその形状から天然の良港となりやすく、波が静かな入り江が多いため、古くから水産養殖業の拠点として発展してきました。他の選択肢は山形県（稲作）や秋田県（日本海側の気候）などの特徴です。
問9	答え 3 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため	東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈などの高い山々は、海から吹き込む湿った空気の進行を妨げる壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に、斜面で上昇して雲を発達させ、雨や雪を降らせるため、山を越えた後の空気は乾燥します。このため、周囲を山に囲まれた内陸部の盆地などでは、沿岸部に比べて年間の降水量が少なくなります。
問10	答え 3 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。	日本の農家は、価格面で有利な輸入農産物に対抗するため、品質や安全面での「付加価値」を高める戦略をとっています。具体的には、農薬の使用を制限して「安全性の向上」を図ったり、誰がどのように作ったかという「生産者情報」を明示したりすることで、消費者から「安心・安全な国産品」としての信頼を得る、いわゆる農産物の差別化が進められています。
問11	答え 4 「ひとめぼれ」が「ササニシキ」と比較して冷害に強く、かつ良食味であったため	東北地方の稲作は常に冷害（やませなどによる低温）との戦いでした。「ササニシキ」は非常に人気のある品種でしたが、冷害に弱いという弱点がありました。そこで、寒さに強く、かつ味も優れた「ひとめぼれ」が開発され、普及しました。特に1993年の大冷害による不作が、翌1994年の決定的な品種交代（作付割合の逆転）を後押しする結果となりました。
問12	答え 2 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。	南部鉄器は岩手県の北上川流域などで得られる砂鉄や岩鉄、粘土などを原料として発展しました。鉄を溶かして型に流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という技法が用いられており、その重厚な風合いと高い耐久性が特徴です。他の選択肢にある漆器、織物、木工品とは、素材や製造工程において明確に区別されます。
問13	答え 3 オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。